

可動網戸の取付け方法

▲ 注意

- 網戸が外れてケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・ 網戸外れ止めの調整は必ず行ってください。
 - ・ 網戸外れ止めのレバーは2目盛以上戻さないでください。

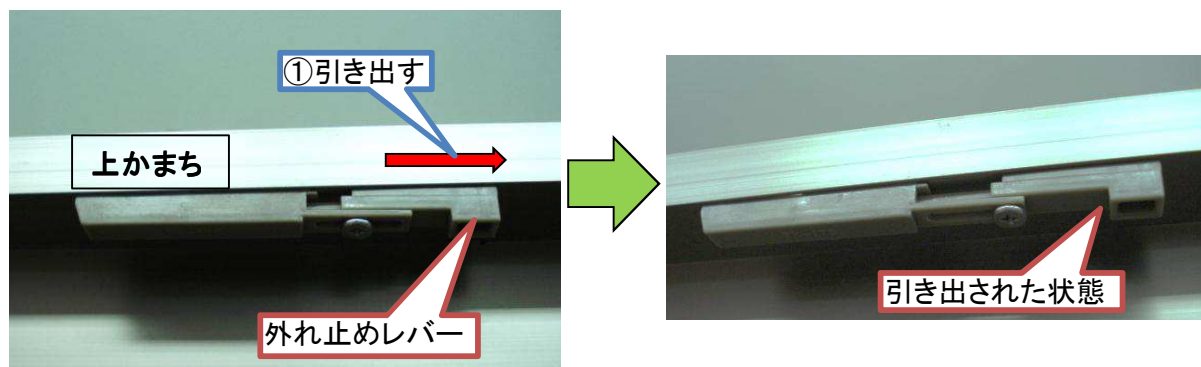
- 戸車や外れ止め、コーナー等は樹脂部品が使われている為、破損するおそれがあります。取り扱いには十分注意してください。
- 網戸には毛足の長いモヘアが使用されております。長い時間モヘアに何か当たっている様な状況を作ると、そのままのクセが付いてしまいますので、そのような状況を作らない様にしてください。
- 片引き窓・両袖片引き窓等の片引き系の窓用の網戸には左右勝手があります。ラベルに記載されているR・Lの表記は室内側から見た表記です。正しく設置してください。

■ 取り付け順序

【網戸全タイプ共通】

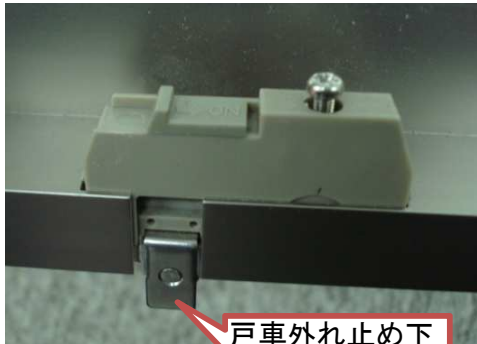
1 建て込み前の準備

- ① 網戸外れ止めレバーを止まるまで引き出します。

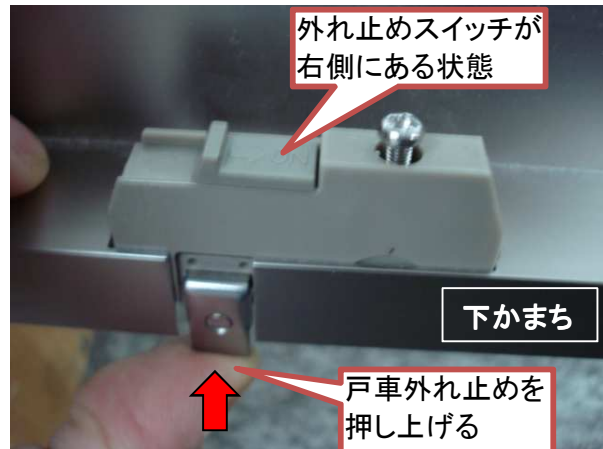


(部品番号 TK-176)

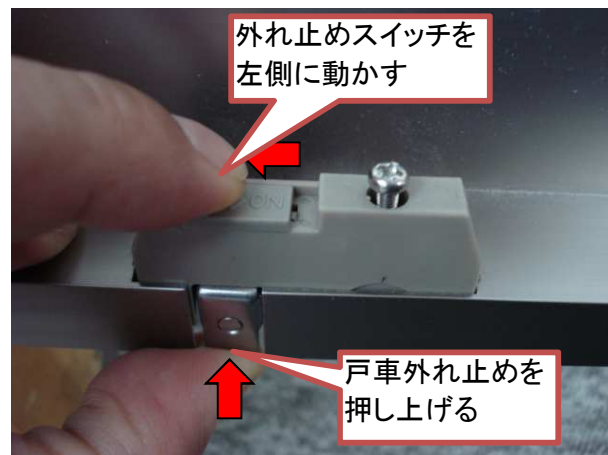
②戸車外れ止めが下がっている状態の場合は、外れ止めスイッチが右側にあることを確認した上で、戸車外れ止めを下かまち内に押し上げた状態で、外れ止めスイッチを左側に固定させます。



(部品番号 TK-175)



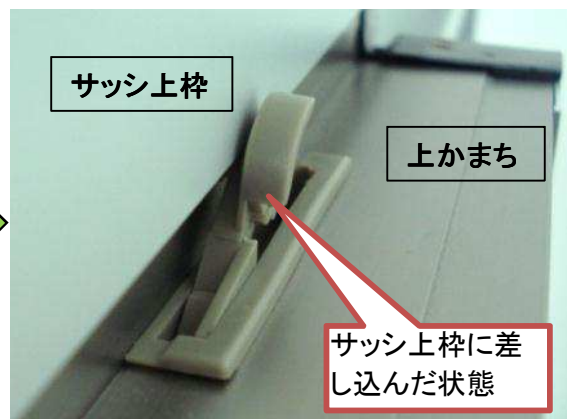
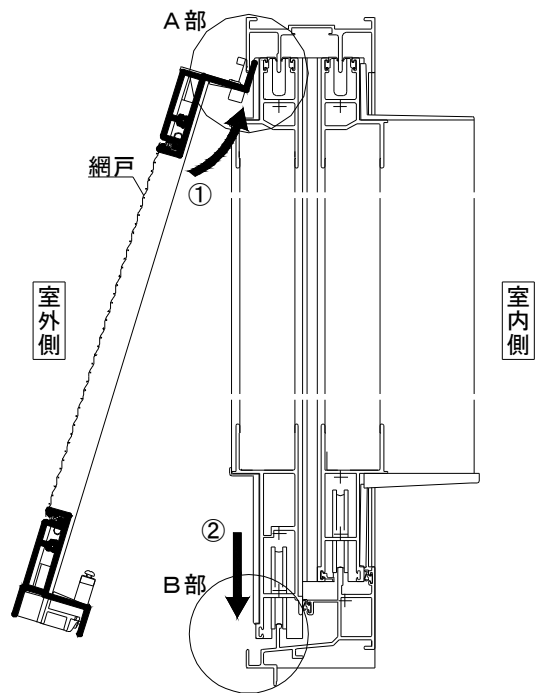
網戸を取り付ける前の状態



2 網戸の建て込み

室外側から建て込みます。

- ①まず、上枠とガラス障子の間に網戸の上枠を差し込みます。

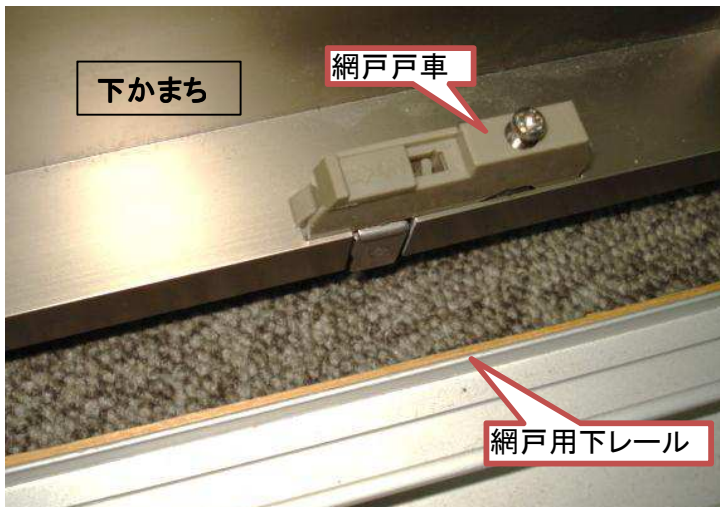


A部 上部を外部から見た状況



A部 上部を内部から見た状況

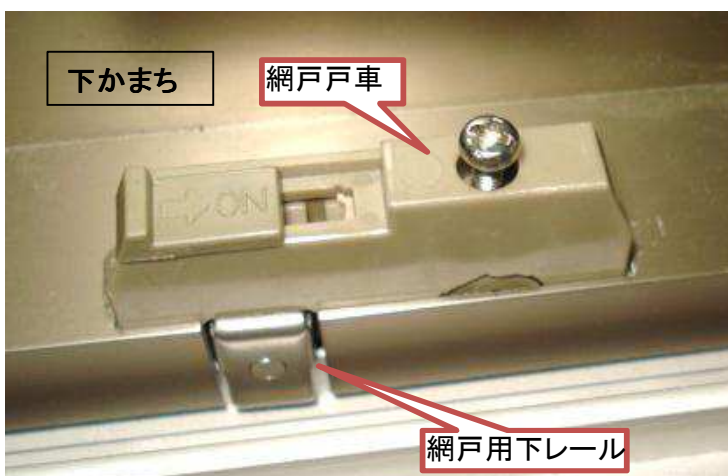
②次に、網戸の戸車を、サッシ枠の下レールの上に乗せます。



レールに乗せる前



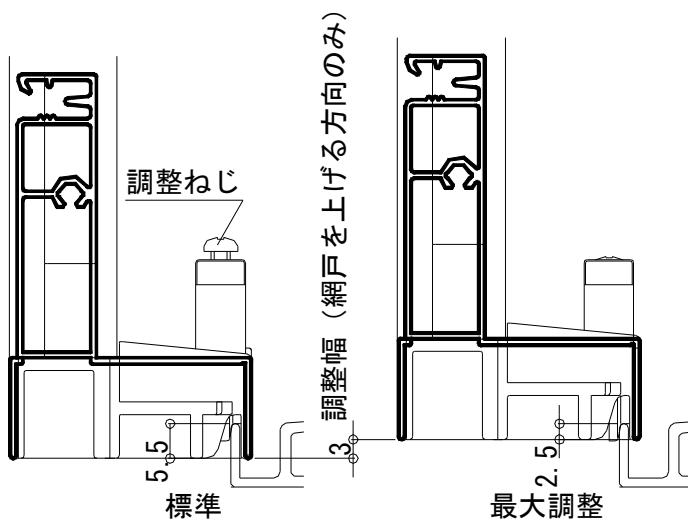
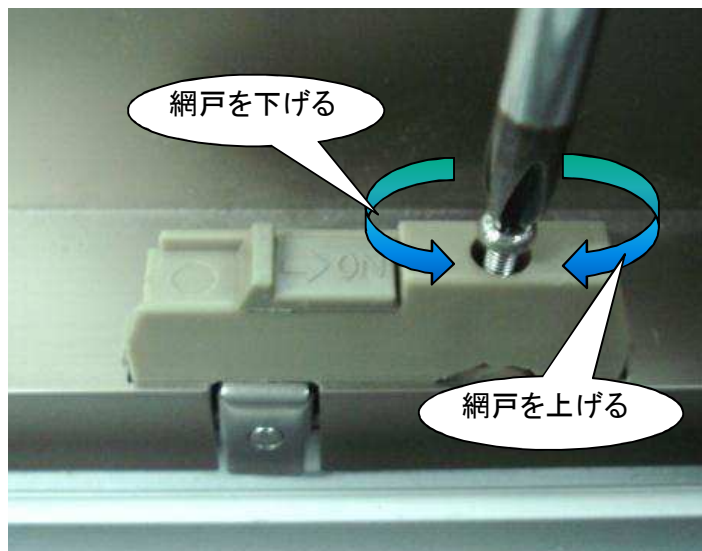
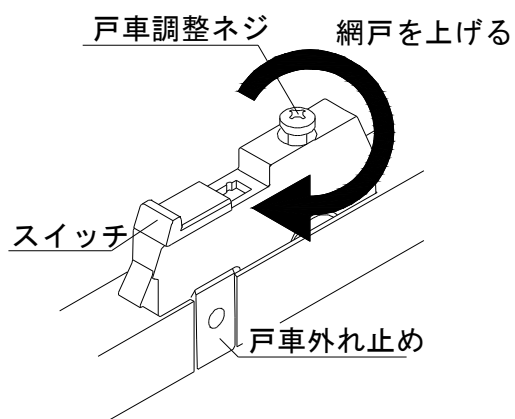
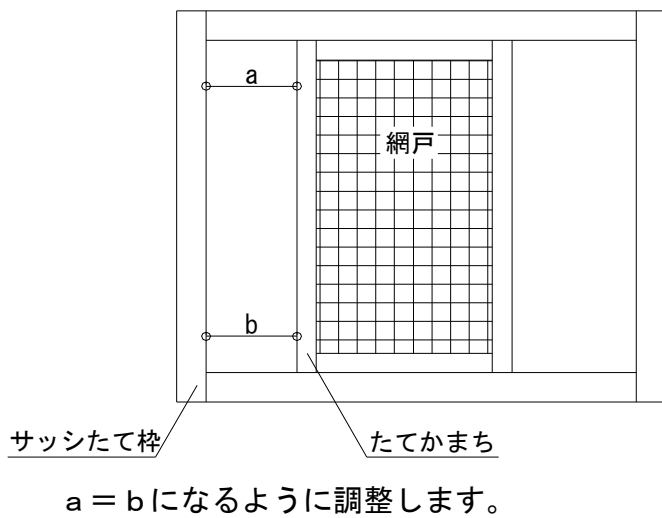
網戸をレールに引き寄せる



レールに乗った状態

3 網戸戸車の調整

- 戸車調整ねじを回してサッシのたて枠と網戸のたてかまちが平行になるように調整を行ってください。



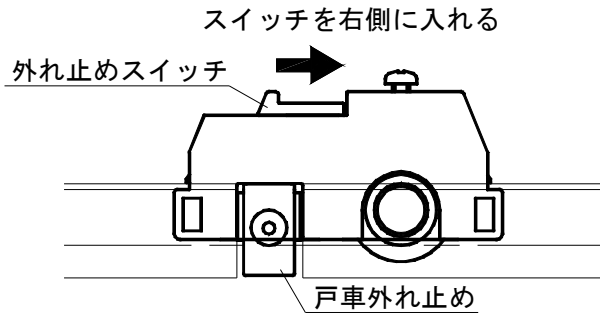
4 網戸外れ止め調整

⚠ 注意

- 網戸外れ止めの調整は必ず行ってください。
- 網戸外れ止めのレバーは2目盛以上戻さないでください。

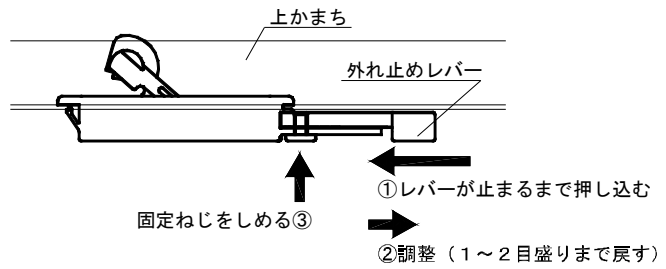
● 戸車外れ止め

- ① 外れ止めスイッチを右側一杯にスライドさせてください。
- ② 網戸を持ち上げて、戸車外れ止めプレートが下がるのを確認してください。



●上部外れ止め

- ①網戸外れ止めレバーを止まるまで押し込みます。
- ②網戸の開閉が重い場合には、レバーを1目盛り又は2目盛り戻してください。
- ③外れ止め固定ねじを締めてください。
- ④網戸を持ち上げて網戸が外れないことを確認してください。



■網戸取り付け後の取り扱い

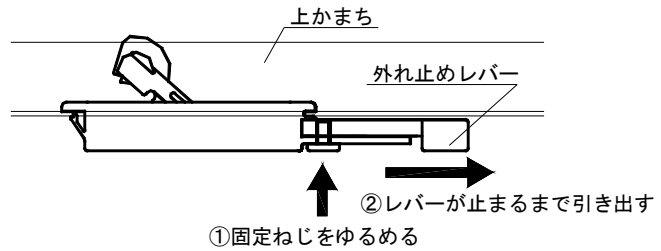
- 引き違い窓用の網戸は、内観から見て右側にセットしておいて下さい。モヘアのクセ付き防止に有効です。
- 片引き窓用の網戸は、開く障子側に網戸をセットしておいて下さい。枠側に接するモヘアクセ付き防止に有効です。
- 網戸の防虫機能は、窓の内側の障子を開けた時に効果的に機能します。窓の外側の障子を動かした場合、障子の位置によっては防虫機能を発揮できません。外側の障子を動かした際、網戸も一緒に動く場合があります。

可動網戸の取り外し方法

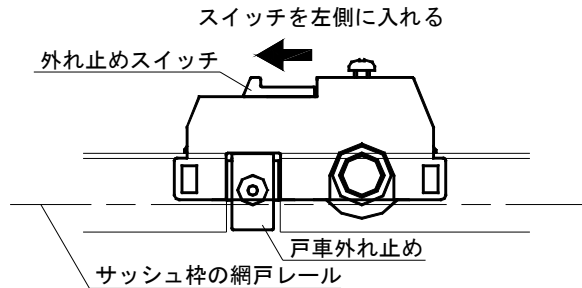
■取り外し順序

1 網戸の取り外し

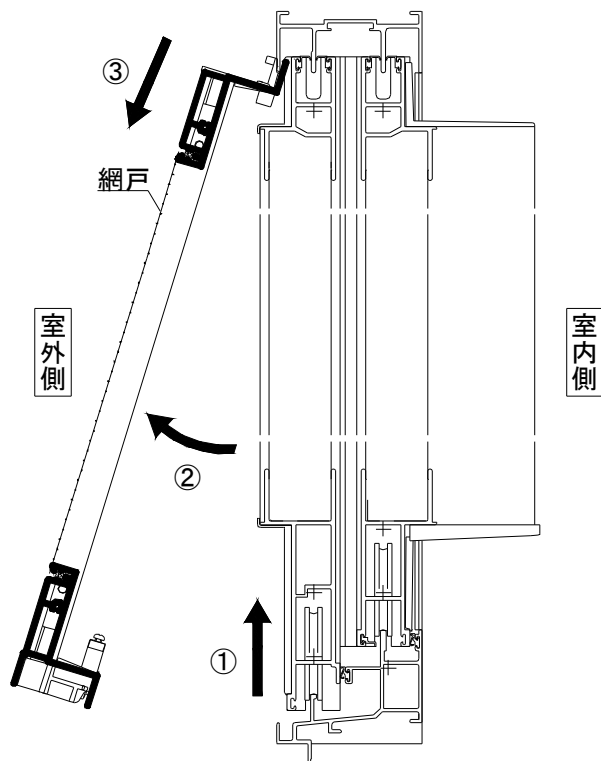
①網戸外れ止めレバーを止まるまで引き出します。



②戸車がサッシュ枠の網戸レールに乗っている状態で、戸車の外れ止めスイッチを左側一杯に入れ、戸車外れ止めが飛び出して来ないように固定します。



③室外側から右の図のように
①②③の順にケンドンさせ、
網戸を取り外します。



※手順に従って網戸の取り外しを行わなかった場合、網戸又は網戸の部品が破損する原因となります。
順序通りの正しい取り外し方をして下さい。

■網戸取り外し後の取り扱い

- 戸車や外れ止め、コーナー等は樹脂部品が使われている為、破損するおそれがあります。取り扱いには十分注意してください。
- 網戸には毛足の長いモヘアが使用されております。長い時間モヘアに何かが当たっている様な状況を作ると、そのままのクセが付いてしまいますので、そのような状況を作らない様にしてください。